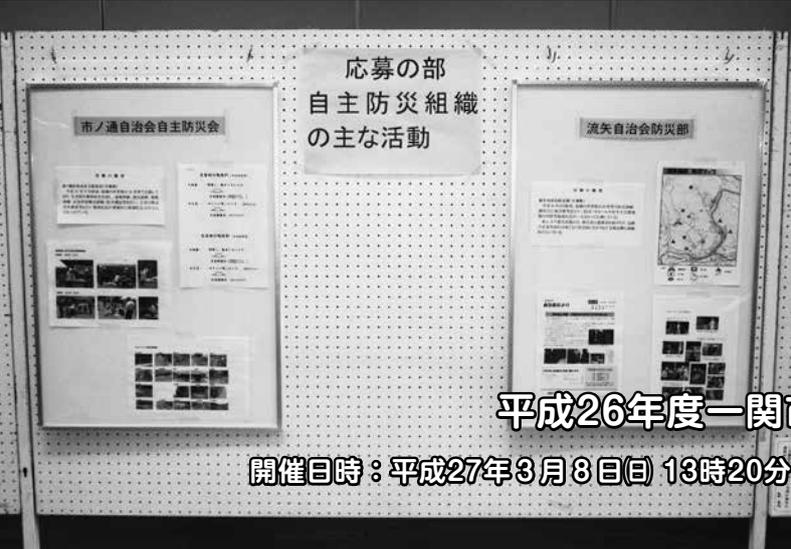


広報 119

2015春号 vol.19

地域の安全

地域に防災リーダーを!!



平成26年度一関市防災フォーラム

開催日時：平成27年3月8日(日) 13時20分～15時30分 会場：川崎公民館大ホール

●●● 今後の行事予定 ●●●

- | | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 6月7日～13日 | 危険物安全週間 | 9月1日～30日 | 防火ポスター募集 |
| 6月27日 | 危険物取扱者試験 | 9月6日～12日 | 救急医療週間 |
| 7月5日 | 一関市水防訓練 | 9月9日 | 救急の日 |
| 7月18～19日 | 避難所生活体験研修会 | 10月18日 | 一関地区支部連合演習 |
| 9月1日 | 防災の日 | 10月24日 | 危険物取扱者試験 |

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

熱中症の季節はすぐそこまで来られます！

こんな日には注意してください！

- ・気温が高い
- ・湿度が高い
- ・風が弱い
- ・日差しが強い
- ・照り返しが強い
- ・急に暑くなった



このような日が一日でもあれば熱中症注意日です。熱中症が起りやすいのは、太陽が照りつける暑い日のみとは限りません。湿度の高い日などは気づかないうちに脱水症状を起こしています。

特にともともと体液が減少し、水分や塩分の摂取に重要な食事も低下しがちな高齢者は、発汗による体温調節機構が十分機能せず、脱水症を起こしやすくなっています。脱水症の症状が出る前、「かくれ脱水」の段階を早めに気づき、対策をとっていくことが、高齢者が夏はもちろん気温が高い季節を元気に過ごすための基本です。高齢者が「かくれ脱水」段階で脱水症



を予防していくために、日常生活で心がけることを知っておきましょう。

心がけることは、高齢者が脱水症を起こしやすい環境をできるだけ改善すること。室内だからといって熱中症を起こさないというのは間違いです！逆に室内は熱がこもりやすくなっていますので注意しましょう。また、外出時は外気との温度差のある環境での体温調整の工夫をすること。食事などで防衛体力をできるだけ保持することなどがあります。そして、こまめな水分、塩分補給を行いまししょう。

大雨や台風等で危険が迫った時の避難行動



気象情報や周辺の状況の変化に注意し、情報の収集や避難する準備をしましょう。

指定された避難場所等へ早めに避難しましょう。

すでに浸水している、または夜間で見通しが悪いですか？



自宅や近隣建物の2階以上の高所へ避難し、救助を待ちましょう。

※避難に関する情報とは……
 一関市では避難に関する情報として「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の3つを段階的に発令します。
 避難に時間を要する方は、「避難準備情報」が出された時点で避難行動を始めましょう。また、自主防災組織等は避難行動要支援者への避難支援を開始しましょう。避難行動要支援者については3ページをご覧ください。

消防 Q&A

問：避難行動要支援者とは？

答：「避難行動要支援者」とは、災害が発生した場合に本人のみでは避難することが困難であり、支援を必要とする方のことをいいます。

このほかに、高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する人を「要配慮者」といいます。一関市には要配慮者が約15,000人、そのうち避難行動要支援者が約4,500人暮らしています。地域の協力で、避難の支援などを行っていく必要があります。



一関地域自主防災組織連絡協議会研修会

平成27年2月8日

一関地域自主防災組織連絡協議会（熊谷典男会長）の平成26年度第2回研修会が一関文化センターにおいて行われました。講師には元教員で山田町愛宕地区自主防災会の田村剛一会長を招き、東日本大震災に伴う同地区の津波被害の体験談や、火災などによる二次被害の恐怖や災害発生時における自主防災組織の役割の重要性について講演いただきました。今回の講演では、災害の恐ろしさを再認識するとともに、自主防災組織活動の重要性を改めて勉強させていただきました。



高齢者の事故等について

シリーズ第十八回

県立磐井病院救急医療科長 片山 貴 晶

高齢者の事故の発生原因として、加齢による筋力の低下、嚥下障害や集中力の低下、また認知力の低下によるものがあげられます。

筋力の低下によるものでは転倒や転落です。わずかな玄関の段差や足のもつれ、またベッドや車椅子の移乗時などで起こります。また、年齢を重ねると全身の骨がもろくなっており、少しひねったり、打撲したりしただけでも簡単に骨折してしまいます。そのため、自分自身では慎重な行動を心がけ、周囲の方は気配りをお願いします。

嚥下障害では、飲み込む力が弱くなり、簡単に食べ物をのどに詰まらせてしまうことがあります。特に練り物やモチなどは大変危険です。こうした事故を防ぐためには、少しずつゆっくりと、よく噛んで食べることを心がけましょう。

集中力の低下や認知力の低下による高齢者の自動車運転中の事故も非常に多くなっています。原因としては、ハンドルの切り損ねやギヤの入れ間違い、人や障害に気づいてからブレーキをかけるまでの時間の延長など、若年者には



ないような事故が多発しています。最近では高速道路の逆走などが社会問題となっています。若いころのつもりでいると大変危険です。認知力の低下により、夜間に徘徊して転落や交通事故で命を落とされる方も非常に多くなっています。また家庭用品の誤食・誤飲も多く、家庭での管理が重要となります。認知症の初期症状は、本人だけでなく周囲の方も気づいていないことも多く、家族の方などの日頃からコミュニケーションをとることが重要となってきます。

いわて火山情報 モバイルメールサービスについて

岩手県では、登山者等に対して火山情報を提供するため、平成27年3月25日から火山情報を配信しております。

ぜひ、登山開始前などに登録し、平時・緊急時に火山情報を受け取れるようにしておきましょう。

○受け取れる火山

- ・岩手山
- ・秋田駒ヶ岳
- ・栗駒山
- ・八幡平



携帯電話のQRコード読み取り機能を利用すると栗駒山の情報にアクセスできます

《URLからの登録》

<http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/>

問合せ先

いわてモバイルメール関係

政策地域部 情報政策課 地域情報化担当
電話番号：019-629-5313

火山情報関係

総務部 総合防災室 防災危機管理担当
電話番号：019-629-5156

支援車・高規格救急自動車 が寄贈されました

一関信用金庫より支援車及び高規格救急自動車に寄贈され、3月6日(金)一関市消防本部において贈呈式が行われました。

支援車は災害現場で活動する隊員への後方支援や消防防災の普及啓発で、必要な資機材を積載し、様々な用途に使用します。

また、高規格救急自動車は救急隊員が乗車し、応急処置や救急救命活動が十分できるよう活動しやすい車内空間と必要な資機材を有している車両です。



積極的な活動と 災害に強い地域づくりの活動を表彰

優良自主防災組織等表彰式

2月21日(土)一関市消防本部で優良自主防災組織等表彰式が行われました。これは自主防災組織等の活動の推進と地域防災力の向上を目的に、優れた活動を行っている組織やその指導者を毎年表彰しているものです。表彰を受けた方々は下記の通りです。

(敬称省略)

申請の部

一関地域婦人消防協力隊
分隊長 佐々木八重子
平泉町婦人消防協力隊
分隊長 千葉 恵子
平泉町第12区自主防災会
会長 鈴木 節郎

応募の部

三関第一民区自主防災会
東中田民区自主防災会
市ノ通自治会自主防災会
流矢自治会防災部
平泉町第13区自主防災会
平泉町第15区自主防災会
平泉町第19区自主防災会

平成26年度優良自主防災組織等表彰式



表彰を受けた皆さま

避難所生活体験研修会参加者募集

東日本大震災を振り返り、避難所の運営に参加体験し、避難者の役割等について考えます。

1. と き 7月18日(土) 午後4時から
19日(日) 午前10時まで
2. ところ 千厩農村環境改善センター
(一関市千厩町千厩字上駒場360-12)
3. 定員 80名
4. 内容 避難所運営体験等
5. 問合せ

6月15日から受付を開始します。各消防署・分署へお申し込みください。



発行日 ●平成27年5月25日

編集 ●一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3
TEL (0191) 25-0119

●表紙は平成26年度一関市防災フォーラムの様子●

山本准教授(岩大)の講演、「みんなの安心の会」による寸劇、自主防災組織の活動を紹介するパネル展示がありました。一関市消防本部では防災リーダーの育成に取り組んでいます。